回覧 斐太北

妙高市立斐太北小学校
令和 8年 10月 29日
TEL 0255-72-2629
myoko.hidakita-es@edu-niigata.ed.jp
ホームページ

自分で学ぶ力を子どもとともに育てる

自分で選び 学ぶ手応え



「前より自分で決めて取り組んだ」「分からないときに、先生にきけるようになった」全校で取り組んだ3週間の「自分でぐんぐん」。振り返りに記された子どもたちの言葉から、自分の学びに向き合った姿が伝わってきます。

9月 28 日から 10 月 16 日まで、低・中学年は国語と算数、高学年は算数と社会を組み合わせ、何を、どの順番で学ぶかを子ども自身が考えました。「ゴールしたりチャレンジ課題ができたりしてうれしかった」という声もありました。自分で選び、取り組んだからこそ感じるうれしさ。その手応えを、次の学びに向かう力にしてほしいと思います。

難しかったという声も大切に





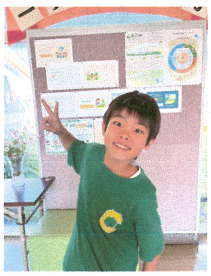
「またやりたいか」という問いには、「ぜひやりたい」34.5%、「やりたい」37.9%、合わせて72.4%が前向きに答えました。一方で、「あまりやりたくない」「やりたくない」も合わせて 27.6%ありました。「きつかった」「課題が多すぎ」「一人でやるのは難しかった」この声にも、丁寧に向き合わなければなりません。

「チャレンジ課題まで行かなかったけど、自分はがんばったなあと思う」と書いた子もいます。そのがんばりを受け止めながら、ゴールに届かなかった結果も一緒に見つめたい。どこで止まったのか、何があれば進めたのか。「次はがんばれる」という思いを、次にできる具体的な一歩につなげることが大切だと考えています。

教師も関わり方を問い直す

子どもたちの振り返りを受け、職員も3週間を振り返りました。自分で選ぶ姿や計画する力の変化を確かめるとともに、教材や学習環境の工夫、学習が進みにくい子への関わり、振り返りの指導について話し合いました。子どもに学びを委ねるからこそ、教師の準備と見取りが問われます。いつ見守り、いつ声を掛け、何を教えるのか。私たち自身も、自分の関わり方を問い直す機会となりました。

教材準備の大変さも、職員から挙がった課題です。それぞれが工夫した教材を共有し、次にも使えるようにすること。学年部で子どもの姿を持ち寄り、課題の量や示し方、相談しやすい環境を考えること。教師が共に学び、授業をつくる営みを大切にしていきます。





日々の授業で次の一歩を

今後については、低学年の「昼ぐんぐん」や高学年の単元末の習熟など、日々の授業で続ける案も出されました。2月の第2回全校実施までの間にも、選んで学び、振り返る経験を重ねられるよう検討していきます。

私は、「自分でぐんぐん」を通して、子どもたちに自分の学びを自分で育てていく力を付けてほしいと願っています。助けを求めることも、方法を変えることも、その大切な一歩です。この力を、仲間や地域の方と学ぶ「みらい学習」にもつなげていきます。ご家庭や地域でも、「どんなことができるようになった？」「困ったときはどうした？」と、子どもたちの歩みに目を向けていただければ幸いです。（文責：三田村尚子）







斐太北小ホームページには、日々変化していく「自分でぐんぐん」の様子を掲載しています。

妙高市児童・生徒科学研究発表会　２名の児童が、学校を代表して堂々と発表しました。

３年　石崎　花　「大きくてわれにくい　しゃぼん玉けんきゅう」
３年　髙橋　咲月　「こおりレース」

第22回妙高市小学生親善陸上大会　入賞の有無にかかわらず、全員が全力で頑張りました。

５年	女子走り幅跳び	第３位	林　真子	
５年	男子100m	第１位	佐藤　奏多	
６年	男子100m	第１位	佐藤　成耶	
６年	男子走り幅跳び	第１位	太田　慶佑	第４位　加藤　颯介
女子4×100mリレー		第６位	斐太北小チーム	
男子4×100mリレー		第５位	斐太北小チーム	

～１１月の予定～

２日（月）人権教育同和教育講演会（６年生）
３日（火）文化の日
４日（水）火山学習（６年生）・委員会
６日（金）マラソン記録会・親子奉仕作業
　　ＰＴＡ役員決め
９日（月）マラソン記録会予備日
１２日（木）修学旅行一日目
　　ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ訪問日
１３日（金）修学旅行二日目
１４日（土）市Ｐ連研究大会（妙高高原メッセ）
１６日（月）読書旬間（～２７日）
１７日（火）フレンドフェスティバル話合い①
　　児童朝会
１８日（水）フレンドフェスティバル話合い②
２０日（金）秋の環境整備作業・避難訓練（水害）
２１日（土）秋の環境整備作業予備日
２３日（月）勤労感謝の日
２４日（火）辻読書・３年校外学習（警察署）
２６日（木）個別懇談①（希望者）
２７日（金）個別懇談②（希望者）